

平成31年第1回  
高鍋町議会定例会

# 施政方針

高鍋町長 黒木敏之

2019年、世界経済は、迷走する「自国第一主義」の米トランプ政権に翻弄され、米中貿易戦争による中国経済の減速や、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る混乱など、グローバル化を先導した米英が国際協調に背を向け、今後の世界経済の先行きに不透明感を投げかけています。

そのような世界情勢の中、日本は、「自由貿易の旗手として存在感を示せるのか」「消費税率10%へ引き上げ後も、人口減少、超高齢化社会のもとで持続的に成長していく足場を築けるのか」「経済の安定を保ち続けることができるのか」官民挙げての新たな変革への取組が求められています。

目まぐるしく変化していく時代にあって、地方都市、地方に生きる者にとって、今後どのような課題が投げかけられてくるのでしょうか。あるいは、選択と集中のまちづくりが求められる中、高鍋町のまちづくりは何を優先し、どのように取り組むべきなのでしょう。時代を読み、未来を想定し、より効果的で実行力のある高鍋町の「みらい戦略」を構築していかなければならないと考えます。

2019年、時代はさらに急速に進化を遂げています。

人口減少、超高齢化社会、東京一極集中、地方創生、技術革新、価値観の多様化、様々な改革や変化が求められる時代にあって、新たなキートrendとして、「人工知能（AI）」「SDGs」「働き方改革」を挙げさせて頂きます。これらのもたらす変化について正しく認識し受け入れていくことが重要であると考えます。

「人工知能AI」による技術の飛躍的な革新は、資本主義の常識を変え、脳が価値であり対価となる「頭脳資本主義」の時代を創出させ、「労働者の数を集めて生産性を高めることで国内総生産（GDP）を決めてきた時代」から、これからは「頭脳のレベルがGDPを左右する時代」へと変化し、私たちの生活や社会基盤、価値観までも急速に変えていくこととなります。

「SDGs (持続可能な開発目標)」は、国際社会のコンセンサスであり、「排除から包摂へ」という新たな時代の方向性、価値観を創り出すことであり、持続可能な社会の実現に向けて、企業・行政がそれを理解し、それぞれにチャレンジしていく必要があります。

「働き方改革」については、本年、労働時間について初の上限規制を含む「働き方改革関連法」が施行されます。今後、どのように「働き方改革に取り組むべきなのか」新しい法律の意義を十分に理解し、「働く人のための視点に立った改革」を実行することが重要であり、新たな働き方の価値観が生まれるものと考えます。

急激な大変革期の真ただ中であって、私たちは、さらなる変化、改革、革新していくことを怠るわけにはいきません。

私は、高鍋町長就任以来、「豊かで美しい歴史と文教の城下町の再生」をビジョンとし、「農畜産業が豊かになってこそ、商工業は潤い、まちは元気になる」という基本理念の下、「産業振興」「福祉・子育て・教育」「住環境の整備」の3つをまちづくりの柱とし、「改革の努力を積み重ねていく風土の中で、優れた人材が育ち、若者がチャレンジできて、働きがいのある雇用の場があり、高齢者が健康で生き生きと過ごせて、子育て・教育に最適な福祉環境を備えた、誰もが住みたいと思う、豊かで美しい城下町」を目指し高鍋町の改革、新たなまちづくりに取り組んで参りました。

この2年間に振り返りますと、町民の皆様のお力添え、町議会議員の皆様のご支援、職員の努力もあり、南薩食鳥株式会社様、エイムネクスト株式会社様等の企業誘致を行い、中学生までの医療費の無償化、65歳以上のインフルエンザ予防接種の自己負担を1,000円にするなどのほか、ふるさと納税の推進、施設のネーミングライツの導入、鈴木馬左也シンポジウム、明倫堂シンポジウムの開催、キャリア教育支援センターの開設等多くの成果

を生み出すことができたと共に、北のママンマルシェTAKANABE、南の宮崎キヤノン、西の高鍋温泉めいりんの湯の民営化、そして今後、東の高鍋駅・蚊口海浜公園の活性化、町なかの活性化へと取り組む準備が整いつつあります。

そして、いよいよ、宮崎キヤノン株式会社様の宮崎工場が完成し、操業が始まります。「新産業創出」「雇用の場の創出」が実現されることにより高鍋町の発展はさらに勢いを増していくと考えます。

本年、平成31年度は、この2年間ご提案しております「10の達成すべき目標」の下、新たな課題を勘案し、選択と集中による短中長期的な計画を詳細に立案、実行し、皆様と共に、さらに大きな成果を創り出して行かねばなりません。

## 「達成すべき目標」

### 1、 農畜産業支援

農畜製品のブランド化

農畜製品の6次産業化

有機農業の促進

農畜製品の販売促進

J A児湯との連携促進

高鍋農業高校・農業大学校との連携促進

農業後継者・新規就農者の育成支援

家畜伝染病の防疫強化

## 2、福祉の充実

石井十次先生生誕の地として「福祉のまち」の推進

子育て世代の生活と雇用の支援

放課後児童クラブ・子どもの貧困対策等児童支援

高齢者や障がい者（児）が生き生きと暮らせるための支援

## 3、企業誘致・雇用創出

企業誘致助成制度の充実

積極的な企業誘致活動の推進

レンタルオフィス、シェアオフィスの推進

誘致企業との意見交換会の開催

町民の職能教育支援

起業家の育成支援

## 4、商工業支援

「ふるさと納税制度」の推進

商工業者・地場産業者との意見交換会の開催

「まちなか」活性化の推進

空き店舗対策の推進

地場産品開発支援

地場産品の販売促進支援

後継者育成支援

商工会議所との連携促進

## 5、 観光促進

飲食業の支援

高鍋駅舎周辺及び蚊口海浜公園の整備促進

高鍋城址舞鶴公園の整備促進

持田古墳群と花守山の連携、世界遺産登録推進

観光イベント（高鍋城灯籠まつり、サーフィン大会等）への支援

アートフェスティバル（高鍋町美術館創設20周年記念）の開催支援

城下町の景観づくりの推進

伝統芸能（高鍋神楽等）の支援

## 6、 文教の町の再生・教育支援

小・中・高の交流と地域との連携による効果ある学校教育の推進

まちなかに教育子育て施設の設置推進

スポーツ・文化活動の支援

スポーツ施設の整備

## 7、 防災・環境整備・美しい高鍋づくり

防災対策の推進

宮越樋管の整備促進

災害危険箇所、未整備インフラの整備促進

コンパクトで美しく機能性に優れたまちづくりの推進

## 8、 人口増加・定住支援

定住支援策の推進

町の魅力発信

## 9、 町民の声を町政に反映させる仕組みづくり

男女共同参画社会づくりの推進

高鍋町ホームページによる積極的な情報発信

## 10、 役場の活性化

綱紀粛正の徹底

職員研修、人材育成の推進

町長表彰制度の充実

親しまれる役場づくりの推進

各課の明確な年度目標の設定

役場全体の年度目標を全職員で共有化

町長は課長、課長補佐と個人面談を実施

笑顔、あいさつ、掃除の推進

以上、急激に変化していく時代にあって、今すぐにやるべきこと、短期、中期、長期の目標を明確にし、大胆な改革をスピーディーに推し進めながら、「豊かで美しい歴史と文教の城下町・たかなべの再生」に取り組んで参ります。誰もが暮らしたいと願う、豊かで美しい高鍋町を、子どもたちの未来のために、この町に生きる者の使命として、皆様方と共に、力を合わせて創っていかねばならないと考えます。

「凡そ戦いは、正を以って合い、奇を以って勝つ」

中国の戦略家・孫子の書き残した「孫子の兵法」の一節に習い、まちづくりの戦いに勝つには、先ずは正攻法で真正面から正々堂々と取り組み、時に

臨機応変に対応してアイデアを練り勝利していかねばならないと考えます。  
本年度が、高鍋町のまちづくりにとりまして大きな一歩となりますよう皆  
様方の積極的なご支援ご協力をお願い申し上げ、平成31年度に挑む私の  
所信とさせていただきます。